

2025年度政務調査研究活動実績報告書

県民の会 代表 坂本 茂雄

2025年度の政務調査研究に関する主な活動の実施状況は以下のとおりである。

- 1 東日本大震災からの復興状況の調査研究について
- 2 分散型地域エネルギーの復興まちづくりの調査研究について
- 3 高校再編振興につながる災害科学の調査研究について
(議会質問会への意見反映)
- 4 消防広域一元化の調査研究について
(議会質問会への意見反映)
- 5 農業×観光の取り組みの調査研究について
- 6 歴史的建造物×観光の取り組みの調査研究について
- 7 国道33号線の整備促進の調査研究について
- 8 国際開発とフェアトレードの調査研究について
- 9 非核・平和の取り組みの調査研究について
- 10 ジョン万次郎の大河ドラマ化の調査研究について
- 11 学校教育のあり方の調査研究について
(議会質問会への意見反映)
- 12 精神に障害のある方への医療費助成の調査研究について
(議会質問会への意見反映)
- 13 南海トラフ地震等自然災害に対する防災・減災についての調査研究
(議会質問会への意見反映)
- 14 持続可能な森林林業政策についての調査研究
(議会質問会への意見反映)

1 東日本大震災からの復興状況の調査研究について

県議会「県民の会」では、10月15日～17日の間、東日本大震災における宮城県の被災地の復興状況を視察・聞き取り調査を行ってきました。

15日

【気仙沼市大谷地区】

気仙沼市の調査では、市議会議員の三浦友幸さんのアテンドで、大谷海岸で、住民の声をその復興状況に反映させた取り組みについて、現地を見ながら、お話を聞かせて頂きました。

住民同士または行政との対立構造を生まない合意形成のあり方や海岸の管轄変更、砂浜から後背地までの一体整備環境への配慮、バリアフリーなど復興過程における工夫した点についてご説明頂きました。

さらに、住民にとって復興のまちづくりを進めていく上で、何が最も大事にしなければならないのかという「砂浜を守る」という上位概念を最初に作ったのが、大きな力になったということを教えられました。

住民合意がない中で工事は進めない。対立の火種は、いつも残っていたが、お祭りやコミュニティで乗り越え、対立構造を生まないようにした。

事前復興に取り組む高知においても、大変重要なスタンスを聞かせていただきました。

その後は、防潮堤と一体的に整備した内湾地区の商業施設「迎(ムカエル)」と複合型公共施設「創(ウマレル)」などを案内して頂き、ここでも復興の賑わいの作り方などを聞かせていただきました。

16日

【石巻市雄勝地区】

石巻市雄勝地区で、直接被災されて復興過程に関わられていた現在は金沢大学助教の阿部晃成さんと合流し、ご説明頂きました。

最大9mの高さの巨大堤防に囲まれた地域は、今までも話には聞いていましたが、本当にこれが復興と言えるのか、そんな思いを抱かざるを得ない現状を見せつけられました。

移転先の高台での災害復興公営住宅の状況や多くの犠牲者が出た雄勝病院跡地にある慰霊碑等を案内頂き、後背地に誰も住まなくなったにもかかわらず、立ちはだかる巨大防潮堤など、なぜこのようになってしまうのか考えさせられる復興です。

そこには、被災者の多くを切り捨てながら、高台移転のみによる住宅再建と、守るものを失った低平地に巨大防潮堤を建設する宮城県の規定復興が進められた町が作り出され、そこには帰りたいくても帰れない人々を除く1/4の住民が戻っただけです。

さらに、阿部さんは、現在能登半島地震の被災地輪島で支援をしながら研究をされている中での課題を将来の南海トラフ地震への備えとして提起もして下さいました。

17日

【名取市閑上地区】

17日午後からは、名取市閑上地区の復興の状況について、10年間の交流が続いているふらむ名取の代表格井さんから、日和山で合流し、お話を聞かせて頂きました。

10年前から何度か尋ねましたが、復興の街開きがされてからは初めてでしたので、その代わり様に驚かされました。

まちづくりそのものよりも、格井さんが力を入れてこられたコミュニティ形成のための様々な取

り組み、お茶会や餅つき、芋煮会などなど、災害後に新たにできた人と人とのつながりが復興の重要な柱なのだと感じさせられたところです。

そして、周りに見える災害復興住宅の集会室の光景が目には浮かんでくるような気すらしました。

これらの取り組みによって、復興計画では後れをとったが、いいまち「閉上」になったと言われるように頑張られている格井さんたちの思いを私たちは災害前に築いておかなければならないと考えさせられました。

この地区では、ハードの復興だけでなく、ソフトの復興の重要性について学ばせて頂きました。

2 分散型地域エネルギーの復興まちづくりの調査研究について

【東松島市・分散型地域エネルギー自律都市プロジェクト及び野蒜地区】

10月16日に、訪ねた東松島市では、分散型地域エネルギー自律都市プロジェクトによる復興まちづくりが行われており、スマート防災エコタウンや電気事業についてお話頂くとともに、防災エコタウンの実際を見学させて頂きました。

大手住宅企業と東松島市が連携して、東日本大震災からの復興をきっかけとした住民の意向を反映した住宅再建や環境配慮のまちづくりを実現したもので、エリア内では災害時に停電した際にも、3日から1週間は電気供給が可能な再生可能エネルギーの新しいモデルとして運営されています。

事前にこのような街づくりが地域地域で行われていれば、災害後の復旧がいかに早く進むかということを考えさせられました。

また、東松島市の野蒜地区は、大変な被害を受けたところとして記憶にもあるところですが、現在は脱炭素先行地域として野蒜地区で取り組まれている事業などについてお話を聞かせていただき、現地の震災遺構や復興伝承館もご案内いただきました。

3 高校再編振興につながる災害科学科の調査研究について

【宮城県立多賀城高校災害科学科】

東日本大震災の被災地における復興状況を学ぶ会派の調査視察で10月18日に訪ねた県立多賀城高校災害科学科では、佐々木教頭先生をはじめ、初代の担任の佐藤先生、現在の担任の石山先生のお話を聞かせていただきました。

ちょうど当日は全校の球技大会のため、授業を見学する事はできませんでしたが、先生方からのお話を聞く中、改めて本県においても、必要な学科であることを考えさせられました。

災害科学科では、普通科の学習内容を防災や減災、環境の切り口も加えて学習し、専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会的視点を養う学習で、幅広い内容を扱っています。

災害科学科では、大学等進学が8～9割を占め、その先にも災害対策に関わる進路を歩まれているとのこと。

高知県議会でも、本県高校における災害科学や環境を学べて、このような学びの中で、命を守る学びと備えの人材を育てる学科の必要性を提案してきましたが、改めてその必要性を感じたところです。

4 消防広域一元化の調査研究について

4月25日に奈良市役所を訪ね、本県も検討を進めている消防広域化について聞き取り調査を行

った。

奈良県でも広域一元化議論が、本県に先駆けて行われていたが、奈良市と生駒市が一元化から離脱した経緯などについて、奈良市長及び奈良市消防局長から聞き取り調査を行いました。

5 農業×観光の取り組みの調査研究について

① 5月3日、滋賀県蒲生郡日野町の滋賀農業公園・ブルーメの丘で花と農業、そして観光をドッキングさせた取り組みについて調査を行った。

② 5月4日、京都府南丹市美山町で歴史的な遺産を観光につなげる取り組みを行っている美山かやぶきの里を視察し、調査した。

③ 5月5日、岐阜県可児市で、バラの花をテーマに観光振興の取り組みを行っているぎふワールドローズガーデンを視察・調査した。

④ 5月17日香川県三豊市詫間町のマーガレット栽培と地区の花を中心とした観光振興についてフラワーパーク浦島で調査を行った。

⑤ 薔薇と園芸を研究している日本一のバラの街の広島県福山市園芸センターを視察調査した。

⑥ 廃校になった小学校施設のプールを使ってホンモロコ養殖を行っている地区と休校との連携をしているワクリエ新居浜の調査を行った。

6 歴史的建造物×観光の取り組みの調査研究について

4月24日、奈良県大和郡山市の既存の歴史的建造物を観光資源として生かした町屋物語館を活用した観光振興の取り組み事例や、歴史的地場産業のブランド化並びに SNS を活用した広報戦略について調査・視察を行った、

7 国道33号線の整備促進の調査研究について

8月18日には、国道33号線の慢性的な交通渋滞の解消と大雨時の事前通行規制区間の解消などを図るための整備促進について国道33号沿線自治体市長らと国土交通省四国地方整備局に早期の改良の要望を行い意見交換を行った。

また、8月19日に同課題について、国土交通省、財務省、県選出国會議員等に早期の改良の要望を行い、調査研究を行った。

8 国際開発とフェアトレードの調査研究について

9月13日開催のフェアトレード全国フォーラム2025名古屋に参加し、国際開発とフェアトレードが出来る時 JICA の現場から」の講演を聴講し、現地の方の思い等について意見交換をした。

また、未来を描くフェアトレードタウン基準を超えて広がる可能性の分科会において、ワークシ

ヨップ形式の会議に参加し、学びを深めた。

9 非核・平和の取り組みの調査研究について

広島平和記念資料館を訪ね、原子爆弾投下の惨状、人的、物的被害等を学び、核廃絶・平和行政についての調査学習を行った。

10 ジョン万次郎の大河ドラマ化の調査研究について

ジョン万次郎生誕199年祭に参加し、ジョン万次郎の大河ドラマ化などの要望を含めて意見交換を行った。

11 学校教育のあり方の調査研究について

①「県立夜間中学の未来を考える議員ネットワーク会議」のメンバーとして、高知国際中学校夜間学級(夜間中学)の入学式、卒業式に出席し、入学にあたっての困難な中での学びの決意や卒業にあたっての在校した3年間の成果についての言葉に学ばせて頂きました。

②足摺岬小学校の休校式典に参加し、地域における小学校の存続課題等について意見交換を行った。

12 精神に障害のある方への医療費助成の調査研究について

昨年に続き、精神に障害がある方の家族でつくる団体「高知はっさくの会」の皆さんと意見交換をするとともに、勉強会を重ねてきた。

「精神障がい者保健福祉手帳所持者に対する精神科医療費及び一般医療費への助成制度(重度心身障害者医療費助成制度)の創設」を求め、「高知県重度心身障害児・者医療費助成事業に係る関係者会議」の傍聴を毎回行い、各定例会で、意見反映を行い、当事者の声を無視した形で決めることのないよう求めてきた。